

令和6年度浦安市教育委員会4月定例会会議録

浦安市教育委員会

令和6年度浦安市教育委員会4月定例会

- I. 日 時 令和6年4月11日(木)
開 会 午後3時00分
閉 会 午後3時37分
- II. 場 所 市役所9階 市議会議事堂第1委員会室
- III. 進 行 教 育 長 船 橋 紀美江
- IV. 出席委員 教 育 長 職 務 代 理 者 宮 道 力
委 員 宮 澤 ミシェル
委 員 吉 野 則 子
委 員 影 山 純 二
- V. 出席説明者 教 育 次 長 田 中 健 一
教 育 総 務 部 長 大 塚 一 樹
教 育 総 務 部 次 長 落 合 幸 一 郎
教 育 総 務 部 技 監 泉 澤 一 欽
教 育 総 務 課 長 宇 田 川 順 子
教 育 政 策 課 長 小 池 康 裕
教 育 施 設 課 長 内 山 達 夫
指 導 課 長 村 上 陽 子
指導課主幹(教育センター所長) 青 山 陽 子
保 健 体 育 安 全 課 長 峯 崎 泰 利
千鳥学校給食センター所長 本 沢 誠
生 涯 学 習 部 長 近 藤 敏 彰
生 涯 学 習 部 次 長 北 嶋 純 代
生涯学習課長(青少年センター所長) 齊 藤 恭 一
生 涯 学 習 課 主 幹 島 本 まり子

生涯学習部副参事(市民スポーツ課長)	本 川 昇
郷 土 博 物 館 長	島 村 嘉 一
高 洲 公 民 館 長	佐 藤 良 平
中 央 公 民 館 長	増 田 丈 巳
堀 江 公 民 館 長	菅 原 満
富 岡 公 民 館	原 早 苗
美 浜 公 民 館 長	佐 藤 栄 一
当 代 島 公 民 館 長	高 梨 誠 二
日 の 出 公 民 館 長	北 村 章 代
中 央 図 書 館 長	森 田 志 織

VI. 傍 聴 人 3名

VII. 案 件

第1. 会議録の承認

1. 令和5年度浦安市教育委員会2月定例会会議録の承認について

第2. 教育長からの一般報告

第3. 審議事項

議案第1号 令和6年度 学校地域連携運営協議会委員の委嘱について

議案第2号 令和6年度 地域学校協働活動推進員の委嘱について

第4. 協議事項

第5. 報告事項

1. 教育委員会共催・後援行事一覧
2. 令和6年度浦安市教育委員会学校訪問実施要項について
3. 令和6年度浦安市教育委員会幼稚園・認定こども園計画訪問実施要項について
4. 令和5年度教育相談実施報告

5. 令和6年度産業医及び健康管理医の配置について
6. 令和6年度学校医、学校歯科医、学校薬剤師の配置について
7. 令和5年度第5回定例社会教育委員会議開催報告
8. 浦安市市制施行40周年記念 浦安アートプロジェクト「浦安藝大」
発見プロジェクト ドキュメンタリー映像作品上映会開催報告
9. 浦安市市制施行40周年記念 浦安アートプロジェクト「浦安藝大」
海外交流プログラム 報告会+ワークショップ
「アルゼンチンの食文化を体験し、浦安の食文化を創造しよう」開催報告
10. 令和5年度市民大会実施競技開催報告
11. 令和6年度市民大会実施開催案内
12. 令和5年度 企画展「浦安の海苔養殖」開催報告
13. 令和5年度第4回公民館運営審議会開催報告

第6. 教育委員からの一般報告

第7. その他

開 会 (午後 3 時00分)

船橋教育長 これより令和6年度浦安市教育委員会4月定例会を始める。
議事に入る。
議事の第1. 会議録の承認である。
令和5年度浦安市教育委員会2月定例会会議録について承認いただけるか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長 異議がないので、令和5年度浦安市教育委員会2月定例会会議録については承認された。

なお、会議録の承認に当たり、会議録の署名を吉野委員にお願いする。

次に、議事の第2. 教育長からの一般報告に移る。

私から報告をする。

本年度より教育長を拝命した船橋紀美江です。着任して初めての定例会であることから、この場をお借りして自己紹介の意味も含め、これからの浦安の教育行政を進めるに当たり、教育長として大切にしていきたいことなどお伝えする時間を頂戴したいと思う。

4月1日に行われた辞令交付式における教育長挨拶では、まず、浦安で生まれ育った子ども達の活躍について紹介をした。大きな災害とともに幕を開けた2024年ではあったが、お正月恒例の箱根駅伝では、浦安の幼稚園、小中学校を卒業した子どもが選手となり、力走する姿を見せてくれた。小さい頃から走ることが大好きだった彼が力走する姿は、多くの方々に勇気と感動を与えたことと思う。

また、私ごとではあるが、昨年末、母が入院した病棟に、教え子が看護師として勤務していた。当時1年生だった彼女が立派に成長し、今では笑顔で高齢者を支えている。私にも、先生、お母さんのことは任せてねと笑顔で手を振ってくれる彼女に、私は幾度となく励まされた。

着任の挨拶の冒頭でこの話をしたのは、浦安の教育に携わる全ての方々に、まずは浦安で生まれ育った子ども達が、私たちが一生懸命進めてきた教育を受けた子ども達が今では立派に成長し、自分の居場所を見つけ、たくさんの方々を支えているということを知っていただきたかったからである。これからも浦安の教育に携わる者として、誇りと向上心を持って浦安の教育を共に進めていきたいと思いますという私からのメッセージである。教育委員の皆様にも、本年度も是非力添えをいただきたく、お願いを申し上げます。

さて、これからの浦安の教育であるが、子ども達の多様な学びを確保するために、学びの多様化学校の開校に向けて、本格的に準備を進めてまいります。さらには特別支援学校の開校に伴い、明海南小学校、明海中学校のさらなる魅力ある学校づくりにも取り組んでまいります。

現代は、多様性の時代と言われている。そういう時代だからではなく、子どもは本来持って生まれた特性や個性が尊重され、地域で幸せに生きる権利を持っている。浦安の子ども達一人一人が、自分の個性に自信と誇りを持って、たくさんの人と豊かに関わりながら育っていけるよう、学校と一体となって誠心誠意準備を進めてまいります。

また、各小中学校においてコミュニティスクールが本格的にスタートする。温かい地域は浦安の強みである。地域の方々にお力添えをいただきながら、地域の担い手であり、宝である子ども達を豊かに育ててまいります。

少子化に伴い、未就学児の教育施設の適正配置も喫緊の課題である。市長部局と密に連携を図りながら、小学校入学前の子ども達、そして、保護者の皆様が安心して通える環境の整備に取り組んでまいります。

生涯学習においては、中央図書館へのファブスペースの設置や、浦安アートプロジェクトなど、市民の方々が主体となり、ものづくりやアートを通して幸せの実現を図る事業を推進していく。

社会教育施設やスポーツ施設においては、利用者の方々に寄り添ったきめ細かな対応で、市民の方々一人一人の居場所づくりに取り組んでまいります。

私自身浦安で生まれ育ち、校長職の最後を母校である浦安小学校で終えることができた。大変光栄なことであり、浦安小学校での3年間は、感謝

の3年間だった。教育長という任の重さを実感する毎日ではあるが、同時に鈴木前教育長はじめ、これまで御指導いただいた先輩方や同僚、仲間への感謝の気持ちを力に変えて、精いっぱい取り組んでまいる。皆様にはお力添えをいただけるようお願いを申し上げ、私の自己紹介と御挨拶とさせていただきます。

続いて、一般報告をする。新年度がスタートして10日余りがたった。8日には浦安市立園・小中学校の始業式が、また、9日には小学校、10日には中学校、そして、本日11日には幼稚園、こども園の入学式が行われた。小学生8,210名、中学生3,476名、合わせて1万1,686名のスタートとなった。

本年度より新たに校長職となった先生は、小学校3名、中学校2名、市教委から学校現場に戻った校長が2名いる。教頭については、新任が小学校5名、中学校2名の合わせて7名となる。新任の管理職については、校長会、教頭会で支え合い、取り組んでほしいと願っている。市教委においても、しっかりと支援してまいる。

今年は桜が4月までもち、4月に満開を迎えるのは7年ぶりだと聞いている。入学式に桜が咲いていたことを喜んでいたところであるが、9日の小学校の入学式は、あいにくの天候となってしまった。市教委からも、職員が新入生の登校時刻に合わせて見守りに出向いたところである。校長先生をはじめ、先生方のきめ細かな対応により、大きなトラブルもなく、入学式を終えることができたと報告を受けている。

春休み中の事故においては、2件の報告があった。いずれも骨折とのことである。当該児童については、学校生活に支障のないよう対応してまいる。

新年度は子ども達、そして、教職員も新たな気持ちで頑張っていこうという意欲が感じられる。その意欲こそ最も大切に、学校運営に努めてほしいと願っている。

一方で、登校に不安を抱えている子ども達がいることも、私たちは忘れてはならない。一人一人に寄り添い、その子に最もふさわしい居場所を共に見つけ、安心して学べる環境づくりに取り組んでまいる。

私の教育長としての理念は、温もりのある教育行政である。子ども達、

市民の方々一人一人に寄り添いながら、浦安の古きよき時代から引き継がれている温かみのある教育行政を進めてまいりたいと思う。

以上で、私の一般報告とさせていただきます。

次に、議事の第3．審議事項に移る。議案第1号 令和6年度学校地域連携運営協議会委員の委嘱についてを議題とする。事務局より説明を求める。

大塚教育総務部長 本案は、浦安市学校運営協議会の設置等に関する規則第6条第1項の規定により、令和6年度と同委員の委嘱について上程するものである。本市では地域と共にある学校づくりを推進するため、本年4月より全ての市立小中学校に学校地域連携運営協議会を設置するものとし、このことに伴い、各小中学校校長の申請に基づき、別紙一覧表のとおり令和6年度の委員を委嘱するものである。

任期については、令和6年4月11日から令和7年3月31日までとなり、なお、委嘱候補者は小学校が150名、中学校が76名となるが、そのうち5名については、令和6年度のPTA会長等を予定している。PTA会長等が決定して推薦者の報告があり次第選任し、5月以降の定例会で報告させていただきます。

船橋教育長 ただいま説明がなされた議案第1号について審議を行う。

影山委員 小学校、中学校ともに地域の方々を巻き込んで運営していかなければ、良い学校はできないと考えているので、そのための運営のコアになるのがこのリストにある方々だと思う。ぜひ私自身も応援したい気持ちであり、教育委員会としても全面的にバックアップして応援していただければと思う。

船橋教育長 今年度からいよいよスタートするコミュニティスクールであるので、一丸となって取り組んでまいりたいと思っている。

それでは、これより議案第1号の採決を行う。議案第1号について、事

務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長 異議がないので、議案第1号 令和6年度学校地域連携運営協議会委員の委嘱については承認された。

次に、議案第2号 令和6年度地域学校協働活動推進員の委嘱についてを議題とする。

近藤生涯学習部長 本案は、浦安市地域学校協働活動推進員設置要綱第6条第1項の規定により、令和6年度と同推進員の委嘱について上程するものである。

本市では地域の教育力を学校へとつなぐ役割を担う学校支援コーディネーターと称する同推進員の令和6年3月31日の任期満了に伴い、各小中学校長の推薦に基づき、入船中学校を除き、別紙一覧表のとおり令和6年度の推進員として委嘱するものである。

なお、任期については、令和6年4月11日から令和7年3月31日までとなる。

船橋教育長 ただいま説明がなされた議案第2号について、質疑を行う。

影山委員 先程の議案第1号の資料では委員区分は細かく記されていないが、議案第2号では詳細が記されている。来年度は議案第1号についても、少し詳しく記載していただければと思う。

船橋教育長 議案第1号は学校地域連携運営協議会委員、議案第2号は地域学校協働活動推進員、似たような名前であるが、議案第1号は先ほど影山委員からもあったように、コミュニティスクールに関わる委員の方々ということでよろしいと考えるが、地域学校協働活動推進員の主な役割についてはいかがか。

齊藤生涯学習課長　こちらについては、学校、家庭、地域の連携・協力の推進を図るため、各学校と地域の学校支援ボランティアをつなぐ役割として、各学校に配置されるものである。

船橋教育長　いわゆる学校支援コーディネーターという解釈でよろしいか。

齊藤生涯学習課長　はい。

船橋教育長　学校が地域の力を借りるときに、地域の方々と学校と、日程等の連絡調整を行う役割を担う方々ということよろしいか。

齊藤生涯学習課長　はい。

船橋教育長　では、これより議案第2号の採決を行う。議案第2号について、事務局の説明のとおり、これを承認することとしてよろしいか。

(「異議なし」の声あり)

船橋教育長　異議がないので、議案第2号 令和6年度地域学校協働活動推進員の委嘱については承認された。

次に、議事の第4．協議事項に移るが、本日の上程はない。

次に、議事の第5．報告事項に移る。報告事項については、配布した資料をもって報告とさせていただきます。

それでは、第5．報告事項に対する質問を受け付ける。

宮道委員　学校訪問の日程が決まり次第教えていただきたい。私は現場が非常に重要だと考えているので、できる限り訪問させていただいて、現場を見ながら私自身も現場に沿った形のお話できればと考えている。

村上指導課長　日程については、改めて案内させていただきます。

船橋教育長 学校現場を大事にしたいという宮道委員のお言葉、大変ありがたく思っている。ぜひよろしくお願ひしたい。

影山委員 同じく学校訪問について。先生の負担になっているのを見ていて感じる。負担にならないように儀式的な部分において簡素化できるのであればしていただきたい。

村上指導課長 ありがとうございます。意見を参考にしながら、計画のほうを進めたいと思う。

船橋教育長 次に、議事の第6 教育委員からの一般報告に移る。各委員の皆様から、近況報告など、または本年度の浦安の教育に期待することなど、一人ずつお願ひしたいと思う。

宮道委員 今日は教育長の初めての定例会ということで、私自身、新鮮な気持ちでいる。明るい印象を感じながら、この時間を過ごさせていただいている。

今回、新年度に入り、浦安市でもコミュニティスクールを本格的に始めるということ、特別支援学校の誘致活動の推進、学びの多様化学校も始まるということで、新しい施策が実施されていく。そこで、昨年も少しお話しさせていただいたが、教育委員会の行政職の方も、教職で市役所にいらっしゃっている方も、チームワークがよく、連携して業務に当たっていると思う。新しい教育長をお迎えした中で、また教育委員も含めて、子ども達のために、地域の大人のために、いい学びの場を提供できるように知恵を出し合っていくことができれば良いと考えている。

特別支援学校の件については、小中連携というところが非常に大きなポイントではないかと思う。以前に我孫子市に少しお話を伺ったところ、中学校の子ども達が小学校に行って、部活の紹介をしたり授業を行ったり、そういった交流を実施していた。それが1つのキャンパスではないが、同じ敷地の中でできるということは、より多様な学びの場の形成ができていくのではないかと考えているので、その辺りを非常に期待しながら、見守

っていきたいなと思っている。

船橋教育長 ありがとうございます。今、特別支援学校の開校に向けてということでお話があったが、進捗等いかがか。

小池教育政策課長 現在、令和9年度に開校を予定している県立特別支援学校の誘致に当たり、明海南小学校の機能を明海中学校へ移すための、明海中学校環境改善工事の基本設計及び実施設計が終わったところである。今年度は子ども達の学習活動に影響が出ないように、夏季休業期間を利用するなどして明海中学校校舎の改修工事を実施する予定である。また、健康こども部の所管となるが、明海南小学校地区児童育成クラブの施設工事も今年度中に行う予定である。

令和7年度からは、両小中学校における教育活動のさらなる充実が図れるよう、本年度は魅力ある学校づくりに向けた取組について、学校と行政が一体となって準備を進めていく予定である。具体的には、義務教育9年間を見通した効果的な授業づくりや特別支援学校との連携の在り方などを検討し、子どもの豊かな学び、健やかな育ちを支えていきたいと思っている。

船橋教育長 続いて、コロナが落ち着いてきた中で、様々な大会がこれから予定されているところである。子ども達の体力向上という部分では、宮澤委員、いかがか。

宮澤委員 コロナ期間が非常に長く、その時期に体力づくりができなかった、技術の取得ができなかったというのがサッカー界でも話に挙がり、データや結果として表れている。我々がデータとして見ているのは、プロの予備軍の選手や、ユースチームに入っている子どもの選手。そういった選手、子ども達でさえもやはりコロナ期間が大きかったということがわかる。小学生、中学生がそこで失った2年間というのは、我々が考えている以上に取り戻すのに必死になる必要があるということが切に感じられていて、そのため

に毎年伝えさせていただいているが、体力検査等の際に、データを見てどう対応するのかを考えていかなければならないと思う。

また、部活動の地域移行のことについて、いろいろと話を聞くと、今後地域任せになってしまうのではないかという印象を受ける。ただ浦安市を見ていると、積極的に指導に携わろうという先生をよく見るので、心配はしてないが、その辺りについて思う部分があったので、この場でお伝えさせていただいた。

船橋教育長 それでは、吉野委員、最近の傾向も含めていかがか。

吉野委員 去年は断続的にコロナが流行していて、8月末からは小中学生、幼稚園児も含めてインフルエンザが流行していたが、4月に入ってから減少している。通常であれば、このままインフルエンザの感染は少ない時期が半年以上続くことが想定される。コロナに関しては、また周期的に流行するかもしれないが、学級閉鎖等が少なく済む1年になることを願う。

船橋教育長 また5月に向けて学校の楽しい行事も始まる。運動会を5月に予定しているところもあるが、気候が変わってきているので、熱中症について気をつけていかなければいけないと考えている。

では最後に、影山委員、いかがか。

影山委員 昨年度に浦安市の様々な学力のデータ等を参考に分析させていただいた。子どものウェルビーイングについて分析した結果、学校が楽しい、あるいは幸せだと思う、あるいはいじめは駄目だと思う、そのような指標というのは、子どもが先生に認められているかどうか、学校に相談できる大人がいるかどうか、あるいは学級が民主的に運営されているかどうかの影響するというデータが複数年の結果で出てきている。

そういったデータを見ると、子どもの学校が楽しいとか幸せだ、あるいはいじめが駄目だというものは、学級の力、先生の力、あるいは学校の力が大きいと考える。

そこで、先生方をお願いしたいことがある。子ども達を認めてあげる、相談に乗ってあげる、そしてみんなで話し合いながら学級を運営していただければ、子どものウェルビーイングにつながると考える。その結果いじめの減少にもつながると思うので、ぜひそのような配慮をお願いしたい。

今年度から始まるコミュニティスクールのリストに掲載されていた方々というのは、学校で相談できる大人がいるかという部分の大人に該当すると考えられる。学校の教員だけでなく、地域の方々にも、子どもの相談に乗ってあげられるような方々として活動していただけるように、ぜひバックアップのほうをお願いできたらと思う。

船橋教育長　私は、浦安の子ども達が30歳になったとき、40歳になったとき、60歳になったときに幸せでいてほしいと願っている。そのためには学校教育だけでなく、生涯学習、社会教育もとても重要になっていく。教育委員会、教育総務部と生涯学習部がしっかりと手を携えて、浦安の教育の発展に努めてまいる。

議事の第7. その他に移るが、本日はその他の上程はない。

以上で、令和6年度浦安市教育委員会4月定例会を閉会する。

閉　　会　（午後3時37分）